

令和4年5月26日

## まちづくり委員会資料

所管事務報告

コミュニティ交通「山ゆり号」の運行状況等について

まちづくり局

# コミュニティ交通「山ゆり号」の運行状況等について（麻生区高石地区）

## 1 概要

「山ゆり号」は、道が狭く、山坂が多いことから路線バスが運行できない多摩丘陵地域において、計画から運営までを地域住民が担い、運行しているコミュニティ交通である。

### <運行概要>

- ・協議会名：山ゆり交通事業運営委員会
- ・運行主体：株式会社高橋商事（一般乗合）
- ・運行本数：19便/日
- ・運行日：平日運行（土日祝日は運休）  
※令和3年5月11日から週3回運行
- ・運賃：大人 300円、小児 100円



運行車両（乗車定員13名）

## 2 運行状況



- ・平成23年の運行開始から令和元年度までの利用者数は微増傾向
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い利用者数が減少
- ・令和3年度は利用状況に応じた運行計画の変更により利用者数は減っているものの、一日の平均利用者数は令和2年度と比較し増加傾向

## 3 利用促進に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少や、全国的な運転者不足等による運行経費の上昇など、運行の継続に向けた厳しい社会背景もあることから、利用促進に向けて、地元の運営委員会や運行事業者と協力した取組を実施してまいりました。

### (1) 地域と連携した利用促進の取組

10周年を迎えた山ゆり号のマスコットについて、近隣の県立百合丘高等学校と連携して案を制作し、地域の方を対象とした投票で決定することで、山ゆり号の広報とともに、地域の関心の獲得に向けた取組を実施しました。



地域投票ポスター（百合丘高校作成）



山ゆり号10周年記念マスコット「ユメノミ」

### (2) じもと応援券の利用

山ゆり号の利用において、回数券を導入するとともに、その回数券の購入に「じもと応援券」を利用可能とすることで、利用促進に向けた取組を実施しました。

## 4 表彰について

令和3年9月に運行開始から10周年を迎えた山ゆり号について、運営団体である「山ゆり交通事業運営委員会」が関東運輸局地域交通優良団体等表彰を受賞しました。

### <評価のポイント>

#### (1) 多様な主体の実質的参画

- ・運営委員会が中心となり協議会を開催。交通事業者や市職員が出席するとともに議題に応じて大学等も参加

#### (2) 創意工夫

- ・広報誌「山ゆり号ニュース」の配布や「山ゆり祭」の開催など地域での利用促進策の実施

#### (3) 自立性・継続性

- ・運営委員会が利用状況の調査やアンケートを積極的に実施し利用促進に向けた運行計画の変更を実施



表彰式の状況

## 5 今後について

- ・令和3年度末に「コミュニティ交通導入に関する手引き」を改定するとともに、コミュニティ交通に対する補助制度を拡充しました。この補助制度も活用しながら、引き続き、支援してまいります。
- ・運営委員会では1日平均100名の乗車を目標としていることから、それに向けた調査分析、地域と連携した利用促進への取組を推進してまいります。